

福島フィールドワーク 10月16日(土) 猪苗代湖畔

- 目的 ①福島 naturally や農作物について経験的に学び、将来、県外で福島のことを自らの体験として語るができるようにする。
②心身をリフレッシュして同学年、先輩、後輩、教員との絆を深め、より有意義な学校生活、学習活動につなげる。



9:30 野口英世記念館を
スタート
準備体操は入念におこないました



9:30~13:00 猪苗代湖畔19kmを歩きます
福島市は雨模様でしたが、土湯峠を越えるあたりから天候が変わり、猪苗代湖は「晴れ」！
気持ちよく歩いて全員完歩です！



13:00~15:30 郡山少年湖畔の村で野外炊飯
飯ごうでの炊飯でしたが、どの班もとてもおいしく炊けました。メニューは、炊き込みご飯、中華丼、カレーなどなど…。歩いて心地よく疲れた中の昼食はサイコーです！施設の調理室と体育館をお借りして楽しく食事しました。

今回の行事は智育活動での「企画運営チーム」が主体となりました。

企画時点では、行事の目的である「福島について経験的に学ぶ」に沿って、福島の良さ、魅力を自分たちが知るために、福島の食材である「お米」を使用することを決めました。また、学年をこえて協力してゴールを目指すよう、他の学年同士でチームを作るようにしました。

本番までには実際に下見に行きコースを歩いたり、当日に着る「特進パーカー」を制作したりと忙しく活動しました。当日は裏方として誘導や野外炊飯の準備、片付けなどを行いました。班ごとの行動だったため、全体を掌握するのがたいへんでしたが、下見の経験を活かし、先にゴール地点へ行って飯ごうの準備や薪わりを行うことでスムーズな運営ができました。

他学年との仲も深まり、フィールドワークが終わってからも、学校生活の中で挨拶をしたり、会話をしたりする機会が増え、行事の意義があったと感じます。

今回の経験は今後生きていくと感じています。状況を見ながら臨機応変な行動を心がけたいと思います。



3年 菅野 希莉
〔福島大学附属中学校出身〕

